

円錐角膜（えんすいかくまく）

主な症状

円錐角膜（えんすいかくまく）は、視力低下や見え方のゆがみが初期症状です。ごく初期には、まぶしさや光が気になるなど、見え方に変化がおこるだけです。病気が進行して、角膜の突出がさらにすすんだり、角膜に白濁（はくたく＝にごり）が生じると見え方にゆがみが生じます。

どんな病気？

円錐角膜（えんすいかくまく）とは、角膜の中央部が円錐状に突出する病気で、思春期近くに発生します。多くは両眼性です。進行の度合いは人によりいろいろで、数カ月間に進行する場合もありますが、何年もかけて進行する場合があります。進行するにつれ角膜の変形が強くなり、不正乱視が出ます。たいていの場合、30歳前後で進行が止まるといわれていますが、40歳代、50歳代になって急激に進行する場合があります。眼鏡で視力が出ない場合は、円錐角膜用のハードコンタクトレンズを使用します。角膜移植をする場合もあります。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 約30分です。

※円錐角膜用コンタクトレンズの検査の場合+40分

Q 円錐角膜は遺伝しますか？

A 円錐角膜の原因はまだ解明されていませんが、アトピーなどアレルギー疾患のある人はそうでない人よりもかかりやすいと言われていています。我が国の円錐角膜の研究では遺伝性は認められていません。兄弟の両方とも円錐角膜を引っさげている方もおられますが、それらの方でも、ご両親に円錐角膜を持っているという方は引っさげません。したがって、お子さんに遺伝する可能性はほとんどないといわれています。

コンタクトレンズやメガネ装用者へのアドバイス

円錐角膜の症状が強い場合は、メガネでは良好な視力を得られません。その場合は、円錐角膜用のハードコンタクトレンズを装用します。円錐角膜は、数か月～数年かけて角膜が変形していきます。定期的な検査によって、目にあった規格のコンタクトレンズを装用することが大切です。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』！

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコーンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコーン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障の手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日：木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日：水曜日、日曜、祝日